

施設長あいさつ

皆様には、施設の運営に日頃からご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

令和という新しい年号に変わり、時間があわただしく過ぎ、あっという間に新しい年を迎えたと思いましたが、新型コロナウイルス（特定感染症）という未知なる感染症が世界的にも、国内でも流行し、多くの老人施設や障がい者支援施設など福祉施設が対応を求められました。施設内で集団感染すると、症状を訴えることが出来ないため重症化しやすい環境下にありました。国の新型コロナウイルスに関する様々な通知が毎日のように届き、何をどのようにしたらいいのかわからない状況でした。そんな中でも法人、施設の役職員がワンチームとなって、対策を話し合ってきました。その間、入所施設の面会制限や通所施設の休業など、ご利用者、ご家族にも大変なご不便をお掛けしましたが、皆様のご理解とご協力にお礼申し上げます。

しかしながら、新型コロナウイルスは現時点で完全に無くなったものではなく、長期的な対応が求められています。これまでの生活の常識が変わり、外出時のマスクの着用、検温、人との距離など「新しい生活様式」が求められています。施設の運営についても、外泊・外出・面会等、これまでの様に出来ない事も増えて来るとお思いますので、重ねてご理解とご協力をお願いします。

松の聖母学園では、昨年从小規模ユニット化、個室を増やすよう改修工事を行いました。何とか3月末には完成し、男子ユニットが1ユニット（うぐいす）増え、3ユニットとなりました。ご利用者の障がい特性や相性などに配慮できるようになり、支援の幅が広がり、生活の質の向上に繋がると確信しています。令和2年度の事業目標は①ご利用者の個性と意思の尊重を大切にします。②専門性と理念を持ち、風通しよく働きがいのある学園にします。③ご家族と連携し、ともに寄り添い歩める学園にします。④地域の活動や学園のイベントを通して、地域の方々との交流を深めます。昨年と変わらない目標となっているようですが、職員ひとり一人の意識が高くなり、毎年毎年達成度が上がっていると感じています。

また、来年3月で松の聖母学園は創立50周年を迎えます。ベルギーの愛徳修道士会の支援を受けて、家庭的な小舎制を取り入れた精神薄弱児施設（定員60名）を開園し、昭和59年には成人寮（定員50名）を平成15年には成人部（100名）を開園と、その間の半世紀の歴史を大切に前人のご努力や思いに敬意を表して、来年は、記念となるイベントを企画したいと考えていますので、保護者の皆様のご協力をお願いします。

これからも、地域の皆様に、必要とされ安心して利用頂けるような施設や職員を目指していきたく思います。今年も、変わらず「気配り」ができ、「気づき」を持って、「やる気・元気」を全面に出して、三つの気を大切にしながら頑張っていきますので、松の聖母学園の職員をどうぞよろしくお願いします。

施設長 片山 義継

新入・転入職員紹介



4月より事務所で勤務しています。笑顔で頑張りますのでよろしくお願いします。
事務 安藤 晶子



マスクを外してハイチーズ。昔は、もっといい男♡?!だったはず・・・!!
皆さん ヨロシクお願いいたします。
現業主事 森本 茂



3年振りに松の聖母学園に戻ってきました。心機一転 又皆様と一緒に頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。
こばと 山口 喬史



まだ分からない事が多くありますが、頑張っていきたいです。よろしくお願いします。
こばと 細本 修平



4月から松の聖母学園 成人寮 女子棟で勤務している山本千秋です。早く先輩方のようになれるよう頑張っていきます。どうか温かい目で見守ってください!
女子棟 山本 千秋

皆様からのご意見をお寄せ下さい

4月1日から7月31日現在でご意見・苦情はありませんでした。
今後も広く皆様のご意見・ご要望を募集いたします。

社会福祉法人あすなろ会

松の聖母学園
松の聖母成人寮
松の聖母サポートセンター
松の聖母あすなろ園
ホム草
ホムひびき
〒689-0206
鳥取県鳥取市白兔12-1
TEL (0857)59-0361
FAX (0857)59-0359
E-mail
matsusei@t-asunaro.or.jp
Homepage
http://www.t-asunaro.jp/

*掲載されております、ご利用者の写真・名前等はご本人またはご家族の方の許可を得て掲載させていただきます。

皆様の暖かい御厚意に深く感謝いたします。学園関係者一同、心より厚く御礼申し上げます。

御厚意
(令和2年4月1日～令和2年7月31日)
日本基督教団 湖山教会 様
お花等贈呈

新型コロナウイルスについて

現在、新型コロナウイルス感染症が、都市部を中心に流行しています。鳥取県内では、7月1日～7月31日の間に、10人の感染者が確認されており、感染の拡大が懸念されています。

松の聖母学園におきましても、新型コロナウイルス感染を未然に防ぐ為に、手洗い・うがい・消毒の実施はもちろん、ご利用者の健康状態をしっかりと日々把握しながら支援を行っています。

また、施設内に新型コロナウイルスを持ち込まないよう、職員の業務開始前の検温・健康状態のチェックや、外部との情報交換を行っています。

更に、万が一感染者が確認された場合、マニュアルに沿った対応をとることで、感染拡大のリスクを減らすことができるよう取り組んでいます。

帰省・外出・面会等の制限で、ご不便をおかけしますが、今後もご利用者が、健康で安全な生活を送り、毎日を楽しく笑顔で過ごすことができるように、より一層の注意を払って支援を行っていきます。



うぐいすユニットの紹介

令和2年6月1日よりうぐいすユニットがスタートしました。うぐいすユニットはこばとユニットとつばめユニットから6名ずつのご利用者が移動され、計12名のユニットです。ご利用者の障がい特性や相性も考慮し編成しました。小規模ユニットになったことで、ご利用者へのサービス提供が細部まで行き届くようになります。

まだスタートして2か月ですが、皆様とても楽しそうに過ごされています。まだ手探りの状態で至らない点があると思いますが宜しくお願い致します。



うぐいすユニット責任者 谷口 雄司郎



日中活動について

学園での日中活動は、5班編成で行われていますが、うぐいすユニットのスタートに伴い、活動場所や内容等、環境設定の見直しを行いました。ご利用者のみなさんにとっても充実した活動内容を提供出来る事と願っています。

従来の園芸・手芸班は、新しく「すみれ班・たんぽぽ班」と親しみの持てる名称に変わり、他「あやめ班・コスモス班・さくら班」と新編成で活動を行っています。日中活動は、成人寮・学園でそれぞれご利用者の特性に合わせたプログラムから成り立っています。月1回のドライブや、音楽療法の他、スヌーズレン・ゲーム・歩行や運動、制作など楽しみを持てる活動をこれからも多く取り入れて行きたいと気持ちを新たに頑張っていきます。



頑張って作りました！

